

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部情報セキュリティ政策会議
重要インフラ専門委員会
第10回会合議事要旨

1 日時 平成19年6月19日(火) 16:00~17:45

2 場所 経済産業省 別館9階 944会議室

3 出席者

[委員]

浅野 正一郎 委員長 (国立情報学研究所 教授)

稲垣 隆一 委員 (弁護士)

岩田 隆 委員 ((社)日本ガス協会)

大塚 順三 委員 (日本放送協会)

大林 厚臣 委員 (慶応義塾大学教授)

雄川 一彦 委員 (日本電信電話(株))

金澤 亨 委員 (野村ホールディングス(株))

九萬原 敏巳 委員 (電気事業連合会)

黒沢 昌幸 委員 ((株)日本航空インターナショナル)

郡山 信 委員 ((財)金融情報システムセンター)

小山 正嘉 委員 (三菱東京UFJ銀行)

佐藤 久光 委員 (東京都)

神保 謙 委員 (慶応義塾大学専任講師)(欠席)

関沢 均 委員 (第一生命保険相互会社)

田口 靖 委員 ((社)日本水道協会)

田中 正史 委員 (全日本空輸(株))(欠席)

土居 範久 委員 (中央大学教授)(欠席)

中尾 康二 委員 (KDDI(株))

永瀬 裕伸 委員 (日本通運株式会社)

早貸 淳子 委員 (有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター)

兵庫 晃 委員 (東京海上日動火災保険(株))

広瀬 雅行 委員 ((株)東京証券取引所)

深谷 聖治 委員 (東日本旅客鉄道(株))

松田 栄之 委員 (新日本監査法人)

矢野 一博 委員（日本医師会総合政策研究機構）

渡辺 研司 委員（長岡技術科学大学准教授）

渡邊 正美 委員（東京地下鉄(株)）

[政府]

内閣官房情報セキュリティセンター副センター長

内閣官房情報セキュリティ補佐官

内閣官房情報セキュリティセンター内閣参事官

内閣府(防災担当) 政策統括官(防災担当)付地震・火山対策担当参事官(代理)

警 察 庁 警備局警備企画課長

金 融 庁 総務企画局参事官(代理)

総 務 省 情報通信政策局情報セキュリティ対策室長(代理)

総 務 省 自治行政局地域情報政策室長(代理)

厚生労働省 政策統括官付社会保障担当参事官(代理)

厚生労働省 医政局 研究開発振興課 医療機器・情報室長(代理)

厚生労働省 健康局水道課長(代理)

経済産業省 原子力安全・保安院 電力安全課長

経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室長

国土交通省 総合政策局情報管理部情報企画課長

国土交通省 航空局管制保安部保安企画課新システム技術企画官

国土交通省 政策統括官付政策調整官(代理)

国土交通省 鉄道局危機管理室長(代理)

防 衛 省 運用企画局情報通信・研究課情報保証室長

4 議事内容

(1) 論点説明に関して

○ 事務局より説明

(2) 委員意見開陳

○ 分野横断的演習については、行動計画、第 2 次提言を踏まえて、仕組みづくりということでスタートしているところであり、まず、その体制の中で、枠組み・知見のとりまとめをやっていくこととなるが、防衛省から協力の提案があった知見の共有や交換ということについては色々なやり方があるので、適宜相談しながら進めていくこととしたい。

- 相互依存性解析、分野横断的演習においては、意志決定の際の責任或いはコンプライアンス、マネジメントとか意志決定プロセスを意識すべきである。また民事や商法など他の領域の観点を分野横断的演習に取り入れることが大切。
- 相互依存性解析、分野横断的演習を進めていく上で、相互にアウトプットを共有できるインターフェースの明確化・協力関係の整理が必要である。
- 分野横断的演習のシナリオ策定にあたっては、初めに、そのターゲットを明確にすべきである。シナリオに示されるシチュエーション(サイバー攻撃や災害等)によって、企業において対応するセクションが異なる。そのシチュエーションにあったプレーヤを起用しないと期待する効果が出ない。
- 参加者を真剣に参加させるためには、やはりシナリオの信頼性(非日常であるけれども起こり得ることというシナリオ)がないと、演習の効果が期待できない。従って分野横断的演習のシナリオを策定するにあたっては、各重要インフラ分野の方からのアドバイスや、場合によっては重要インフラ分野同士の方々からの検証課題の提案が重要である。
- 分野横断的演習のシナリオを作る方が、その分野の演習においてはキーマンになる。自分たちの分野にとっての検証課題、他の分野との確認項目を分かっている方によりシナリオは策定されることが重要である。さらに、演習の参加者についても、自分野において最適な方を起用することも大切。

以 上